



第351号

2015年11月

〒461-0004 名古屋市東区葵2丁目6-35 カトリック名古屋教区広報委員会 「教区ニュース」編集部 電話 (052) 935-2223 FAX (052) 935-2254 印刷所 株式会社 荒川印刷 毎月第1日曜日発行

11月15日(22日) 聖書週間 「平和を実現する人々は、幸いである、その人たちは神の子と呼ばれる。」

新しい「ローマ・ミサ典礼書の総則」に基づく変更箇所 2015年11月29日(待降節第1主日)からの実施に向けて

Table with 2 columns: Date and Name of the speaker. Includes dates like 1日 諸聖人 七種 照夫 and 8日 年間第32主日 チブリアノ・ボンタッキオ.

信徒協・金沢バス巡礼2015

長崎キリシタン殉教記念野外ミサ

高山右近に学びながら

名古屋教区信徒使徒職協議会主催による金沢バス巡礼旅行が9月13日にあり、定員49人に対し70人の応募がありました。

金沢にゆかりのあるユースト高山右近の没後400周年ということで、行きのバスでは右近と卯辰山について学び、松浦司教からも体験談を伺いました。



卯辰山は98年10月中旬金沢東部環状道路建設に伴う卯辰山トンネル工事の際、その山腹7メートル四方から40体の人骨が発掘されその後の調査でキリシタンと判明しました。

高山右近は大阪生まれのため、大阪の教会でも有名であり、教会では高山右近の劇が行われるそうです。松浦司教も頼まれて織田信長役で出演したことがあると話してくださいました。

司教の話のあと、右近と卯辰山にちなんだクイズ大会を行いました。なかなかの難問にもかかわらず20問ほどを解答

され用意していた景品すべてお渡しすることが出来ました。バスに揺られること3時間半、金沢市内に入り金沢城公園と兼六園の間を抜け、カトリック金沢教会に到着。金沢教会の方々に温かく迎えられ教会の中に案内していただきました。聖堂は素敵なステンドグラスの絵がい

くつもありました。祭壇には金沢らしく高山右近やザビエル、祭壇左手には主の降誕、右手には主の復活のステンドグラスです。

昼食は金沢教会の2階の大広間で弁当を頂き、正午には教会の鐘の音が響き至福のひと時でした。食後1時間程時間があつたので、司教を囲んで談話される方や、教会内を見学する方もいました。

金沢教会で記念写真を架を背負ってというが、撮った後、卯辰山に向かいました。教会から15分くらいの所に卯辰山があり、そこまでの道案内とガイドを金沢教会の木越邦子さんにしてもらいました。木越さんは20年もの間高山右近と卯辰山について調べ、伝えている方です。

バスで出発し、金沢城の東西内惣構堀の遺構、浦上四番崩れで金沢に流配されたうち戸主が収容された織屋跡(現在菖蒲園)、女子と小児が収容された養成所跡を車窓から見ました。

バスを降りた後少し坂道を上ると、右手に「長崎殉教者之碑」と書かれた標識があり、それに沿って下ると長崎殉教者碑が建っていました。それは68年(昭和43年)金沢教会が創立80周年記念事業の一つとして建てたものです。そこで殉教者祭ミサが松浦司教司式で行われました。

説教の中で司教は次のように説かれました。「私達は信仰宣言を唱えますがイエスの信仰の告白とは、イエスの生き心と一歩にイエスの歩んだ道を私の現実の中で生きるという決心をすること。それを生きることが私達の信仰告白です」「イエスに従う時十字架を背負ってというが、

十字架は栄光、命の姿を現します。イエスに従う時、ときには損をするかもしれない。けれどその場を生きてみて、復活の喜びのある生き方がある。だから十字架と復活を信じる。新たな思いでその生き方を決心したい」

「まさに100年前、この卯辰山にいた人達が一生懸命に祈りながら苦しみに打ち勝っていった。その彼らの取り次ぎを求めながら同じ信仰を生きさせていけるように決心しましょう」

感謝を抱きながら金沢を出発し、途中夕食を済ませ、映画「レ・ミゼラブル」を車内で鑑賞し、19時30分に布池教会に到着しました。松浦司教様、金沢教会の皆様、そして、参加していただいた皆様、ありがとうございました。

教区正義と平和委員会委員長 竹谷基伸氏主催による学習ツアー「脱原発 原発現場で語り合う」が8月22日に行われた。

福井県の南西部嶺南地方は、人口わずか15万の過疎地域ですが、そこに

中寫さんがその運動に加わった50年前、小浜市内のいろいろな組織・団体が集まって「原発設置反対小浜市民の会」を結成した時、宗教者はたった5人。中寫さんは高野山大学を出て、寺を継いだばかりでした。

小浜市・明通寺 中寫哲演住職 「子孫への責任 果たすことできた」



「美しい若狭を守ろう」と話す中寫哲演住職

中寫さんはその住職です。明通寺は平安時代初期に創建して、1200年の歴史を持つ真言宗の古刹で、本堂と三重塔は国宝、仏像も国宝級のものがいくつもありま

中寫さんがその運動に加わった50年前、小浜市内のいろいろな組織・団体が集まって「原発設置反対小浜市民の会」を結成した時、宗教者はたった5人。中寫さんは高野山大学を出て、寺を継いだばかりでした。

最初は運動の進め方から「考え方はいろいろ

あるだろうが、原発誘致を阻止するという目的は一致しているはず。議論があるなら、それぞれの組織に持ち帰ってやればよい。ここでは市民の気持ちをもつにしよう」と言っていて、みんなの意見をまとめました。5人が運動の方向を決めたわけです。

いつくしみの特別聖年 12月8日開幕!

教皇フランシスコは今年4月、大勅書「イエス・キリスト、父のいつくしみのみ顔」=写真=を発表して、2015年12月8日(無原罪の聖マリアの祭日)から2016年11月20日(王であるキリストの祭日)までを「いつくしみの特別聖年」とする旨、公布されました。

名古屋教区では、松浦司教が12月8日に特別聖年開幕の日曜日、12月13日にはカテドラル・ミサをささげ、次いで12月14日にはカテドラル・ミサをささげ、12月15日にはカテドラル・ミサをささげ、12月16日にはカテドラル・ミサをささげ、12月17日にはカテドラル・ミサをささげ、12月18日にはカテドラル・ミサをささげ、12月19日にはカテドラル・ミサをささげ、12月20日にはカテドラル・ミサをささげ、12月21日にはカテドラル・ミサをささげ、12月22日にはカテドラル・ミサをささげ、12月23日にはカテドラル・ミサをささげ、12月24日にはカテドラル・ミサをささげ、12月25日にはカテドラル・ミサをささげ、12月26日にはカテドラル・ミサをささげ、12月27日にはカテドラル・ミサをささげ、12月28日にはカテドラル・ミサをささげ、12月29日にはカテドラル・ミサをささげ、12月30日にはカテドラル・ミサをささげ、12月31日にはカテドラル・ミサをささげ、1月1日にはカテドラル・ミサをささげ、1月2日にはカテドラル・ミサをささげ、1月3日にはカテドラル・ミサをささげ、1月4日にはカテドラル・ミサをささげ、1月5日にはカテドラル・ミサをささげ、1月6日にはカテドラル・ミサをささげ、1月7日にはカテドラル・ミサをささげ、1月8日にはカテドラル・ミサをささげ、1月9日にはカテドラル・ミサをささげ、1月10日にはカテドラル・ミサをささげ、1月11日にはカテドラル・ミサをささげ、1月12日にはカテドラル・ミサをささげ、1月13日にはカテドラル・ミサをささげ、1月14日にはカテドラル・ミサをささげ、1月15日にはカテドラル・ミサをささげ、1月16日にはカテドラル・ミサをささげ、1月17日にはカテドラル・ミサをささげ、1月18日にはカテドラル・ミサをささげ、1月19日にはカテドラル・ミサをささげ、1月20日にはカテドラル・ミサをささげ、1月21日にはカテドラル・ミサをささげ、1月22日にはカテドラル・ミサをささげ、1月23日にはカテドラル・ミサをささげ、1月24日にはカテドラル・ミサをささげ、1月25日にはカテドラル・ミサをささげ、1月26日にはカテドラル・ミサをささげ、1月27日にはカテドラル・ミサをささげ、1月28日にはカテドラル・ミサをささげ、1月29日にはカテドラル・ミサをささげ、1月30日にはカテドラル・ミサをささげ、1月31日にはカテドラル・ミサをささげ、2月1日にはカテドラル・ミサをささげ、2月2日にはカテドラル・ミサをささげ、2月3日にはカテドラル・ミサをささげ、2月4日にはカテドラル・ミサをささげ、2月5日にはカテドラル・ミサをささげ、2月6日にはカテドラル・ミサをささげ、2月7日にはカテドラル・ミサをささげ、2月8日にはカテドラル・ミサをささげ、2月9日にはカテドラル・ミサをささげ、2月10日にはカテドラル・ミサをささげ、2月11日にはカテドラル・ミサをささげ、2月12日にはカテドラル・ミサをささげ、2月13日にはカテドラル・ミサをささげ、2月14日にはカテドラル・ミサをささげ、2月15日にはカテドラル・ミサをささげ、2月16日にはカテドラル・ミサをささげ、2月17日にはカテドラル・ミサをささげ、2月18日にはカテドラル・ミサをささげ、2月19日にはカテドラル・ミサをささげ、2月20日にはカテドラル・ミサをささげ、2月21日にはカテドラル・ミサをささげ、2月22日にはカテドラル・ミサをささげ、2月23日にはカテドラル・ミサをささげ、2月24日にはカテドラル・ミサをささげ、2月25日にはカテドラル・ミサをささげ、2月26日にはカテドラル・ミサをささげ、2月27日にはカテドラル・ミサをささげ、2月28日にはカテドラル・ミサをささげ、2月29日にはカテドラル・ミサをささげ、2月30日にはカテドラル・ミサをささげ、3月1日にはカテドラル・ミサをささげ、3月2日にはカテドラル・ミサをささげ、3月3日にはカテドラル・ミサをささげ、3月4日にはカテドラル・ミサをささげ、3月5日にはカテドラル・ミサをささげ、3月6日にはカテドラル・ミサをささげ、3月7日にはカテドラル・ミサをささげ、3月8日にはカテドラル・ミサをささげ、3月9日にはカテドラル・ミサをささげ、3月10日にはカテドラル・ミサをささげ、3月11日にはカテドラル・ミサをささげ、3月12日にはカテドラル・ミサをささげ、3月13日にはカテドラル・ミサをささげ、3月14日にはカテドラル・ミサをささげ、3月15日にはカテドラル・ミサをささげ、3月16日にはカテドラル・ミサをささげ、3月17日にはカテドラル・ミサをささげ、3月18日にはカテドラル・ミサをささげ、3月19日にはカテドラル・ミサをささげ、3月20日にはカテドラル・ミサをささげ、3月21日にはカテドラル・ミサをささげ、3月22日にはカテドラル・ミサをささげ、3月23日にはカテドラル・ミサをささげ、3月24日にはカテドラル・ミサをささげ、3月25日にはカテドラル・ミサをささげ、3月26日にはカテドラル・ミサをささげ、3月27日にはカテドラル・ミサをささげ、3月28日にはカテドラル・ミサをささげ、3月29日にはカテドラル・ミサをささげ、3月30日にはカテドラル・ミサをささげ、3月31日にはカテドラル・ミサをささげ、4月1日にはカテドラル・ミサをささげ、4月2日にはカテドラル・ミサをささげ、4月3日にはカテドラル・ミサをささげ、4月4日にはカテドラル・ミサをささげ、4月5日にはカテドラル・ミサをささげ、4月6日にはカテドラル・ミサをささげ、4月7日にはカテドラル・ミサをささげ、4月8日にはカテドラル・ミサをささげ、4月9日にはカテドラル・ミサをささげ、4月10日にはカテドラル・ミサをささげ、4月11日にはカテドラル・ミサをささげ、4月12日にはカテドラル・ミサをささげ、4月13日にはカテドラル・ミサをささげ、4月14日にはカテドラル・ミサをささげ、4月15日にはカテドラル・ミサをささげ、4月16日にはカテドラル・ミサをささげ、4月17日にはカテドラル・ミサをささげ、4月18日にはカテドラル・ミサをささげ、4月19日にはカテドラル・ミサをささげ、4月20日にはカテドラル・ミサをささげ、4月21日にはカテドラル・ミサをささげ、4月22日にはカテドラル・ミサをささげ、4月23日にはカテドラル・ミサをささげ、4月24日にはカテドラル・ミサをささげ、4月25日にはカテドラル・ミサをささげ、4月26日にはカテドラル・ミサをささげ、4月27日にはカテドラル・ミサをささげ、4月28日にはカテドラル・ミサをささげ、4月29日にはカテドラル・ミサをささげ、4月30日にはカテドラル・ミサをささげ、5月1日にはカテドラル・ミサをささげ、5月2日にはカテドラル・ミサをささげ、5月3日にはカテドラル・ミサをささげ、5月4日にはカテドラル・ミサをささげ、5月5日にはカテドラル・ミサをささげ、5月6日にはカテドラル・ミサをささげ、5月7日にはカテドラル・ミサをささげ、5月8日にはカテドラル・ミサをささげ、5月9日にはカテドラル・ミサをささげ、5月10日にはカテドラル・ミサをささげ、5月11日にはカテドラル・ミサをささげ、5月12日にはカテドラル・ミサをささげ、5月13日にはカテドラル・ミサをささげ、5月14日にはカテドラル・ミサをささげ、5月15日にはカテドラル・ミサをささげ、5月16日にはカテドラル・ミサをささげ、5月17日にはカテドラル・ミサをささげ、5月18日にはカテドラル・ミサをささげ、5月19日にはカテドラル・ミサをささげ、5月20日にはカテドラル・ミサをささげ、5月21日にはカテドラル・ミサをささげ、5月22日にはカテドラル・ミサをささげ、5月23日にはカテドラル・ミサをささげ、5月24日にはカテドラル・ミサをささげ、5月25日にはカテドラル・ミサをささげ、5月26日にはカテドラル・ミサをささげ、5月27日にはカテドラル・ミサをささげ、5月28日にはカテドラル・ミサをささげ、5月29日にはカテドラル・ミサをささげ、5月30日にはカテドラル・ミサをささげ、5月31日にはカテドラル・ミサをささげ、6月1日にはカテドラル・ミサをささげ、6月2日にはカテドラル・ミサをささげ、6月3日にはカテドラル・ミサをささげ、6月4日にはカテドラル・ミサをささげ、6月5日にはカテドラル・ミサをささげ、6月6日にはカテドラル・ミサをささげ、6月7日にはカテドラル・ミサをささげ、6月8日にはカテドラル・ミサをささげ、6月9日にはカテドラル・ミサをささげ、6月10日にはカテドラル・ミサをささげ、6月11日にはカテドラル・ミサをささげ、6月12日にはカテドラル・ミサをささげ、6月13日にはカテドラル・ミサをささげ、6月14日にはカテドラル・ミサをささげ、6月15日にはカテドラル・ミサをささげ、6月16日にはカテドラル・ミサをささげ、6月17日にはカテドラル・ミサをささげ、6月18日にはカテドラル・ミサをささげ、6月19日にはカテドラル・ミサをささげ、6月20日にはカテドラル・ミサをささげ、6月21日にはカテドラル・ミサをささげ、6月22日にはカテドラル・ミサをささげ、6月23日にはカテドラル・ミサをささげ、6月24日にはカテドラル・ミサをささげ、6月25日にはカテドラル・ミサをささげ、6月26日にはカテドラル・ミサをささげ、6月27日にはカテドラル・ミサをささげ、6月28日にはカテドラル・ミサをささげ、6月29日にはカテドラル・ミサをささげ、6月30日にはカテドラル・ミサをささげ、7月1日にはカテドラル・ミサをささげ、7月2日にはカテドラル・ミサをささげ、7月3日にはカテドラル・ミサをささげ、7月4日にはカテドラル・ミサをささげ、7月5日にはカテドラル・ミサをささげ、7月6日にはカテドラル・ミサをささげ、7月7日にはカテドラル・ミサをささげ、7月8日にはカテドラル・ミサをささげ、7月9日にはカテドラル・ミサをささげ、7月10日にはカテドラル・ミサをささげ、7月11日にはカテドラル・ミサをささげ、7月12日にはカテドラル・ミサをささげ、7月13日にはカテドラル・ミサをささげ、7月14日にはカテドラル・ミサをささげ、7月15日にはカテドラル・ミサをささげ、7月16日にはカテドラル・ミサをささげ、7月17日にはカテドラル・ミサをささげ、7月18日にはカテドラル・ミサをささげ、7月19日にはカテドラル・ミサをささげ、7月20日にはカテドラル・ミサをささげ、7月21日にはカテドラル・ミサをささげ、7月22日にはカテドラル・ミサをささげ、7月23日にはカテドラル・ミサをささげ、7月24日にはカテドラル・ミサをささげ、7月25日にはカテドラル・ミサをささげ、7月26日にはカテドラル・ミサをささげ、7月27日にはカテドラル・ミサをささげ、7月28日にはカテドラル・ミサをささげ、7月29日にはカテドラル・ミサをささげ、7月30日にはカテドラル・ミサをささげ、7月31日にはカテドラル・ミサをささげ、8月1日にはカテドラル・ミサをささげ、8月2日にはカテドラル・ミサをささげ、8月3日にはカテドラル・ミサをささげ、8月4日にはカテドラル・ミサをささげ、8月5日にはカテドラル・ミサをささげ、8月6日にはカテドラル・ミサをささげ、8月7日にはカテドラル・ミサをささげ、8月8日にはカテドラル・ミサをささげ、8月9日にはカテドラル・ミサをささげ、8月10日にはカテドラル・ミサをささげ、8月11日にはカテドラル・ミサをささげ、8月12日にはカテドラル・ミサをささげ、8月13日にはカテドラル・ミサをささげ、8月14日にはカテドラル・ミサをささげ、8月15日にはカテドラル・ミサをささげ、8月16日にはカテドラル・ミサをささげ、8月17日にはカテドラル・ミサをささげ、8月18日にはカテドラル・ミサをささげ、8月19日にはカテドラル・ミサをささげ、8月20日にはカテドラル・ミサをささげ、8月21日にはカテドラル・ミサをささげ、8月22日にはカテドラル・ミサをささげ、8月23日にはカテドラル・ミサをささげ、8月24日にはカテドラル・ミサをささげ、8月25日にはカテドラル・ミサをささげ、8月26日にはカテドラル・ミサをささげ、8月27日にはカテドラル・ミサをささげ、8月28日にはカテドラル・ミサをささげ、8月29日にはカテドラル・ミサをささげ、8月30日にはカテドラル・ミサをささげ、8月31日にはカテドラル・ミサをささげ、9月1日にはカテドラル・ミサをささげ、9月2日にはカテドラル・ミサをささげ、9月3日にはカテドラル・ミサをささげ、9月4日にはカテドラル・ミサをささげ、9月5日にはカテドラル・ミサをささげ、9月6日にはカテドラル・ミサをささげ、9月7日にはカテドラル・ミサをささげ、9月8日にはカテドラル・ミサをささげ、9月9日にはカテドラル・ミサをささげ、9月10日にはカテドラル・ミサをささげ、9月11日にはカテドラル・ミサをささげ、9月12日にはカテドラル・ミサをささげ、9月13日にはカテドラル・ミサをささげ、9月14日にはカテドラル・ミサをささげ、9月15日にはカテドラル・ミサをささげ、9月16日にはカテドラル・ミサをささげ、9月17日にはカテドラル・ミサをささげ、9月18日にはカテドラル・ミサをささげ、9月19日にはカテドラル・ミサをささげ、9月20日にはカテドラル・ミサをささげ、9月21日にはカテドラル・ミサをささげ、9月22日にはカテドラル・ミサをささげ、9月23日にはカテドラル・ミサをささげ、9月24日にはカテドラル・ミサをささげ、9月25日にはカテドラル・ミサをささげ、9月26日にはカテドラル・ミサをささげ、9月27日にはカテドラル・ミサをささげ、9月28日にはカテドラル・ミサをささげ、9月29日にはカテドラル・ミサをささげ、9月30日にはカテドラル・ミサをささげ、10月1日にはカテドラル・ミサをささげ、10月2日にはカテドラル・ミサをささげ、10月3日にはカテドラル・ミサをささげ、10月4日にはカテドラル・ミサをささげ、10月5日にはカテドラル・ミサをささげ、10月6日にはカテドラル・ミサをささげ、10月7日にはカテドラル・ミサをささげ、10月8日にはカテドラル・ミサをささげ、10月9日にはカテドラル・ミサをささげ、10月10日にはカテドラル・ミサをささげ、10月11日にはカテドラル・ミサをささげ、10月12日にはカテドラル・ミサをささげ、10月13日にはカテドラル・ミサをささげ、10月14日にはカテドラル・ミサをささげ、10月15日にはカテドラル・ミサをささげ、10月16日にはカテドラル・ミサをささげ、10月17日にはカテドラル・ミサをささげ、10月18日にはカテドラル・ミサをささげ、10月19日にはカテドラル・ミサをささげ、10月20日にはカテドラル・ミサをささげ、10月21日にはカテドラル・ミサをささげ、10月22日にはカテドラル・ミサをささげ、10月23日にはカテドラル・ミサをささげ、10月24日にはカテドラル・ミサをささげ、10月25日にはカテドラル・ミサをささげ、10月26日にはカテドラル・ミサをささげ、10月27日にはカテドラル・ミサをささげ、10月28日にはカテドラル・ミサをささげ、10月29日にはカテドラル・ミサをささげ、10月30日にはカテドラル・ミサをささげ、10月31日にはカテドラル・ミサをささげ、11月1日にはカテドラル・ミサをささげ、11月2日にはカテドラル・ミサをささげ、11月3日にはカテドラル・ミサをささげ、11月4日にはカテドラル・ミサをささげ、11月5日にはカテドラル・ミサをささげ、11月6日にはカテドラル・ミサをささげ、11月7日にはカテドラル・ミサをささげ、11月8日にはカテドラル・ミサをささげ、11月9日にはカテドラル・ミサをささげ、11月10日にはカテドラル・ミサをささげ、11月11日にはカテドラル・ミサをささげ、11月12日にはカテドラル・ミサをささげ、11月13日にはカテドラル・ミサをささげ、11月14日にはカテドラル・ミサをささげ、11月15日にはカテドラル・ミサをささげ、11月16日にはカテドラル・ミサをささげ、11月17日にはカテドラル・ミサをささげ、11月18日にはカテドラル・ミサをささげ、11月19日にはカテドラル・ミサをささげ、11月20日にはカテドラル・ミサをささげ、11月21日にはカテドラル・ミサをささげ、11月22日にはカテドラル・ミサをささげ、11月23日にはカテドラル・ミサをささげ、11月24日にはカテドラル・ミサをささげ、11月25日にはカテドラル・ミサをささげ、11月26日にはカテドラル・ミサをささげ、11月27日にはカテドラル・ミサをささげ、11月28日にはカテドラル・ミサをささげ、11月29日にはカテドラル・ミサをささげ、11月30日にはカテドラル・ミサをささげ、12月1日にはカテドラル・ミサをささげ、12月2日にはカテドラル・ミサをささげ、12月3日にはカテドラル・ミサをささげ、12月4日にはカテドラル・ミサをささげ、12月5日にはカテドラル・ミサをささげ、12月6日にはカテドラル・ミサをささげ、12月7日にはカテドラル・ミサをささげ、12月8日にはカテドラル・ミサをささげ、12月9日にはカテドラル・ミサをささげ、12月10日にはカテドラル・ミサをささげ、12月11日にはカテドラル・ミサをささげ、12月12日にはカテドラル・ミサをささげ、12月13日にはカテドラル・ミサをささげ、12月14日にはカテドラル・ミサをささげ、12月15日にはカテドラル・ミサをささげ、12月16日にはカテドラル・ミサをささげ、12月17日にはカテドラル・ミサをささげ、12月18日にはカテドラル・ミサをささげ、12月19日にはカテドラル・ミサをささげ、12月20日にはカテドラル・ミサをささげ、12月21日にはカテドラル・ミサをささげ、12月22日にはカテドラル・ミサをささげ、12月23日にはカテドラル・ミサをささげ、12月24日にはカテドラル・ミサをささげ、12月25日にはカテドラル・ミサをささげ、12月26日にはカテドラル・ミサをささげ、12月27日にはカテドラル・ミサをささげ、12月28日にはカテドラル・ミサをささげ、12月29日にはカテドラル・ミサをささげ、12月30日にはカテドラル・ミサをささげ、12月31日にはカテドラル・ミサをささげ、

### 世界難民移住移動者の日 9月27日

#### 松浦委員長メッセージ(全文)

#### 「すべての人の母である、国境のない教会」

フランシスコ教皇はこれまで、特に北アフリカからボートでヨーロッパに押し寄せる難民についての支援を世界に呼びかけてきました。受け入れるヨーロッパの国々でも限界にきていますが、実際に命をかけて国を出る難民にはどこにも居場所がないからです。今年だけでボートが転覆して亡くなった人はすでに1,800人を超えています。教皇の指摘するように、この問題を、もはやどこか一国だけで解決することはできません。「移住者がより人間らしい生活を送れるように移住のグローバル化に対処するためには、愛と協力をグローバル化しなければなりません。」

日本はどうでしょうか。ヨーロッパのようにボートで押し寄せることはなくても、2014年度には難民の申請者は過去最高の5000人を超えましたが、認定を受けたのはわずか11人でした。ちなみに同じ年、ドイツは1万1000人、英国は9500人、韓国は94人を難民として認定し、受け入れています。

「すべての人の母である、国境のない教会は、受容と連帯の文化を世界中に広めます。その文化の中では、役に立たない人、居場所のない人、使い捨てられる人などいません。」私たちはこの教皇の呼びかけに応え、誰もが大切にされ、安心して暮らせる「国境を越えた世界」になるように祈り、行動していきましょう。

2015年9月27日

日本カトリック難民移住移動者委員会 委員長 松浦悟郎



東ティモールは、12人は、いずれも80年代、90年代に各地で東ティモール支援の団体を組織したり、状況を紹介します。式には相馬司教とシスター中村の代理として、松浦悟郎司教とシスター塩谷惇子(聖心侍女修道会)が出席。来日した同国のエルナニ・コエリヨ外務協力大臣から賞を受けた。授賞式には東ティモールの大統領が出席する予定だったが、日程の都合で来日できなかった。

## 東ティモール、故相馬司教らに賞

東ティモール民主共和国政府は先代の名古屋教区長、故・相馬信夫司教とシスター中村葉子(聖心侍女修道会)を含む同国の独立回復の闘争に貢献した12人の日本在住者に「東ティモール功労賞」を贈ることになり、9月9日、東京・千代田区のホテルで授賞式を行った。写真。

東ティモールは第2次世界大戦中、日本が占領。戦後はポルトガルの支配に戻ったが、70年代にインドネシアに併合され、抵抗運動への弾圧などで多数の住民が犠牲になった。02年に独立した。日本カトリック正義と平和協議会の会長だった相馬司教は80年代以降、シスター中村らと共に東ティモール問題に関わり始めた。89年8月14日には、米ニューヨークでの国連非植民地化特別委員会で、東ティモールの民族自決に関するアピールを発表している。

## 一人一人の名を呼ぶ神

### 北陸・一粒会の集い

北陸地区一粒会の集いが8月30日、三馬教会で開かれた。松浦悟郎司教、一粒会担当平田豊彦司祭、一宮教会片岡義博司祭をお招きし、三馬教会にて各プロックの会員90人が参加した。今年4月に司祭に叙階された片岡司祭が「誰がその人の隣人になったと思うか」と題し、一時間ばかりにわたり講演した。講演では、片岡司祭のキーボード伴奏で参加者全員で「ぶどうの木」の歌を合唱した。「ぶどうの木」は、片岡司祭の思い出に残る歌。「人との出会い」「つ



「召命」は、一般に司祭のためのものと思われているが、本当は召命は洗礼による召命のことである。主はキリスト者のみならずすべての人を召命している。主はその人を愛し、その人の名を呼んでいる。

ながり」「実り」の意味が込められている。片岡司祭は次のように話した。「今年四月に叙階された際の記念のカードには、「だれがその人の隣人になったと思うか」(ルカによる福音書)のみことばを記した。「生涯を通してどういう司祭でありたいか」という問いかけにいつも初心に戻って思い起こすことができるようにと。隣人として、隣人を愛すること、人の痛みを見たときに自分の「はらわた」が痛むかどうか。きれいなことと終ることなく、このみことばの思いを、素直に大切にしている。

「召命」は、一般に司祭のためのものと思われているが、本当は召命は洗礼による召命のことである。主はキリスト者のみならずすべての人を召命している。主はその人を愛し、その人の名を呼んでいる。

## 東日本大震災・災害支援金の報告

社会福祉委員会

発災時より社会福祉委員会へ振込まれた支援金の会計報告

(1) 会計報告 (2011.3.17~2015.10.14)

(収入) 小教区からの支援金総額	23,147,199
(支出) カリタスジャパンへ振込	9,500,000
さいたま教区へ振込	1,000,000
オールジャパン会議交通費	123,620
*大阪教会管区大船渡プロジェクト支援	10,585,774
大船渡ベースへ車いす4台寄贈	123,200
大船渡ベースへ(デジタル)ピアノ寄贈	58,800
ボランティア交通費補助	441,150
支援金残高	1,314,655円

(2) 前月報告(2015.9.9)から2015.10.14までに寄せられた募金の件数と金額  
1件 90,832円 (振込手数料引去後の金額)  
ご協力いただいた方々(個人・団体・敬称略)

富山教会  
(3) 司教着座記念チャリティワインによる募金状況  
・7~8月 160本販売 80,000円 (振込手数料引去後79,660円)  
・9月 880本販売 440,000円  
販売合計1,030本 支援金合計 519,660円 (振込手数料差引後金額)  
販売本数1,000本突破! ただ今好評販売中~!! 感謝!!

(4) 支援金振込先 郵便振替用紙にて  
口座番号 00880-6-1628  
名義 カトリック名古屋教区社会福祉委員会  
「東日本大震災・災害支援金」と記入願います  
★上記、ワイン募金は、1本2,000円(販売価格)のうち500円が大阪教会管区を通し大船渡プロジェクト支援に送られます。(1)の会計報告には(2)(3)も含めて計上しています。  
★ボランティアに関するお問合せは下記までお尋ね下さい。  
社会福祉委員会(担当:村上) 電話 052-852-1426 FAX 052-852-1422

## 教皇受刑者に配慮

教皇フランシスコは「いつくしみの特別聖年」に当たっての特別な配慮として、聖年の間に与えられる免償を受ける機会についても拡大することを決めた。免償は、すでにゆるされた罪にともなう有限な罰の免除のこと。通常、聖年の間に免償を受けるには、バチカンまたは地元教区の聖なる扉をくぐり、罪を告白し、聖体を拝領して、教皇の意向のために祈ることが求められる。

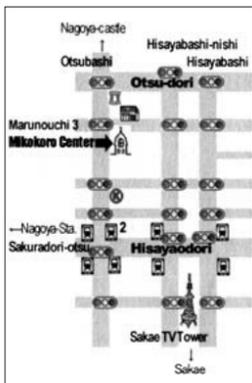
## TOMO NO KAI (共の会)

### CONSULTATINO & Telephone Service

Monday to Friday : 10:00 am ~16:30 pm  
460-0002 Mikokoro Nagoya-shi Naka-ku Marunouchi 3-6-43  
TEL 052-953-9480

Bạn đừng lo lắng ưu tư một mình,  
Xin hãy bàn thảo với chúng tôi.  
(ベトナム語)

- \* Kết hôn với người nước ngoài / Thông tin giấy tờ gia hạn visa
  - \* Bàn thảo giáo dục con trẻ
  - \* Gia đình, cuộc sống
  - \* Bàn thảo y tế \* Thông dịch luật sư
  - \* Thông dịch qua điện thoại
  - \* Hỗ trợ gia đình, trẻ em khi bị trục xuất
- Tiếng Nhật, tiếng Anh, tiếng Phi  
Tiếng Tây Ban Nha, Bồ Đào Nha ...  
Và các ngôn ngữ khác khi có nhu cầu.



## 研修会「グロー司教と小教区共同体を考える!」へ参加の呼び掛け

グロー司教と考える! Part2です。Part1で司教様は論されました。「現実の生活の中での私たちの信仰が問われています。社会の現実が教会の在り方を問うているのです。現代世界憲章は、世界の人々の喜びや悲しみは、キリストの弟子たちの喜びや悲しみでもある、と宣言しました。教会は世の中にパン種として入って行き、その中で生きるのです。」

「教会で奉仕職と呼ばれる聖職者は、神と教会への奉仕者です。信徒は、教会と社会への奉仕者です。社会に信仰を伝えるのは信徒である私たち以外にありません。」  
グロー司教とこれからの小教区共同体を考える研修会です。司教の講義に続き、テーマ別小グループでの分ち合いをします。この研修会の成果を各自持ち帰り、各自の小教区共同体で分ち合って頂きたいのです。  
対象者: 小教区信徒代表(男女各1名)と有志若干名と司祭  
分ち合いグループ  
1. いつくしみの共同体 2. 国際的教会共同体 3. 宣教する小教区  
4. 職能別信仰共同体 5. 家庭の教会 6. 女性の特質

## 松浦司教研修会開催!

研修会テーマ  
グロー司教と小教区共同体を考える  
日時 11月23日(月)  
受付12:30 開演13:00  
終了17:00  
場所 カトリック港教会  
〒455-0843  
名古屋市港区錦町25-17  
電話 (052)389-1841  
FAX (052)384-1935  
駐車 40台  
身体障がい者用トイレ、車椅子スロープ完備  
講師 ミカエル 松浦 悟郎 司教  
(名古屋教区長)  
対象 小教区代表者(男女)、有志、司祭  
主催 信徒使徒職協議会

二〇一五年 一人または二人がわたしの名によって集まるところには、



